



屋外用

UHFアンテナ

(家庭用)

UHF ANTENNA

UHF ch.13~62

U2SWL

SKY WALLIE

スカイウォーリー

取扱説明書

水平偏波用

75Ω用(F型出力端子)

地上デジタル放送を受信するためのUHF全帯域用アンテナです。

UHFの地上アナログ放送も受信できます。

強・中電界地域用

強・中電界地域でも、建物の構造や設置場所によって受信できないことがあります。

本機には、接続ケーブルを付属していません。設置場所に応じて、必要な長さの75ΩケーブルおよびF型コネクタをお求めください。

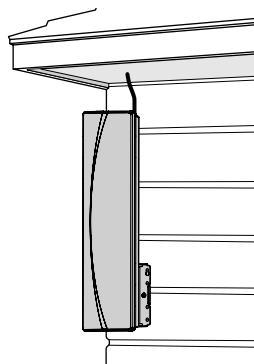


MASter of PROduction
生産の覇者

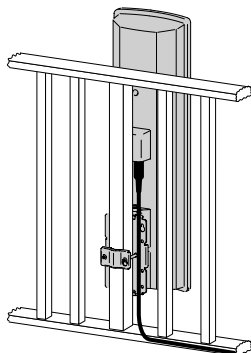
多様な取付方法が可能

壁面だけでなく、ベランダやマストにも取付けることができます。

壁面設置例



ベランダ設置例



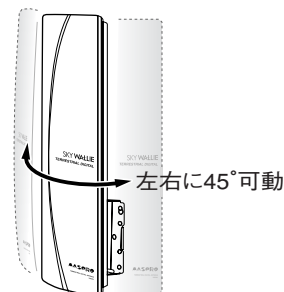
高利得

薄型の形状ながら、当社14素子のアンテナ*に相当する性能(5.5~8.5dB)です。

*地上デジタル放送で、主に使用されるLowバンド(ch.13~30)の利得で比較。

方向調整が容易

広指向性設計と、マスプロ独自のアンテナ可動構造により、方向調整が容易です。



積雪に強い

縦方向に長い形状ですから、降雪時に着雪しにくく、性能の劣化が少なくなっています。

シンプルなデザイン

モノトーンのシンプルなデザインですから、住宅の外観にマッチします。




無鉛はんだの採用、カドミウム・水銀などの不使用により、RoHS指令に対応。


安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みください。


絵表示について


この「取扱説明書」には、製品を安全に正しくご使用いただき、ご使用になる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示がしてあります。その表示と意味は次のとおりです。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

 △記号は、注意(警告を含む)が必要な内容があることを示しています。
図の中に注意内容(左図の場合、警告または注意)が描かれています。

 ⊘記号は、禁止の行為を示しています。
図の中や近くに禁止内容(左図の場合、接触禁止)が描かれています。

アンテナ取付作業 安全上のご注意

アンテナを高所に設置する場合、技術と経験が必要ですから、必ず購入店または工務店にご相談ください。

警告

●雷が鳴出したら、アンテナ・ケーブルには触れないでください。感電の原因となります。



●アンテナの包装に使用しているポリ袋は、お子様の手の届くところに置かないでください。頭からかぶると窒息し、死亡の原因となります。



注意

●高所に取付ける場合、アンテナやアンテナ部品の落下などによって、人や物などに危害や損害を与えたりすることがないように、安全な場所を選んで設置してください。



●壁面に取付ける場合、壁面の強度がわかる工務店に必ずご相談ください。



●アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、アンテナや取付金具・工具などをヒモで固定物に結ぶなど、安全対策をしてから作業してください。



●高所での作業は非常に危険です。万全の安全対策をして取付けてください。また、屋根に登ると、思ったより高く感じられ、足場も不安定です。滑らないように、充分気をつけて作業してください。



●雨降り・強風など、天候の悪い日の屋外での取付作業は非常に危険ですから、絶対にしないでください。また、夏の炎天下では、屋根が非常に熱くなっていますから注意してください。



●アンテナ・取付金具・マストなどに異常があったり、ビスやボルトなどがゆるんだりしていないか、定期的に点検してください。また、台風や大雪などの後は必ず点検してください。アンテナが破損・変形した場合、新しいものと交換してください。そのままにしておくと、アンテナや取付金具などの部品が、破損、落下して、けがの原因や建造物に損害を与える原因となります。



●腐食が進んで劣化した取付金具をそのまま使用しないでください。落下して、人や物などに損害や危害を与える原因となることがあります。アンテナや取付金具は、定期的に点検してください。



●感電防止のため、アンテナは電線(電灯線・高圧線・電話線など)からできるだけ離れた場所に設置してください。



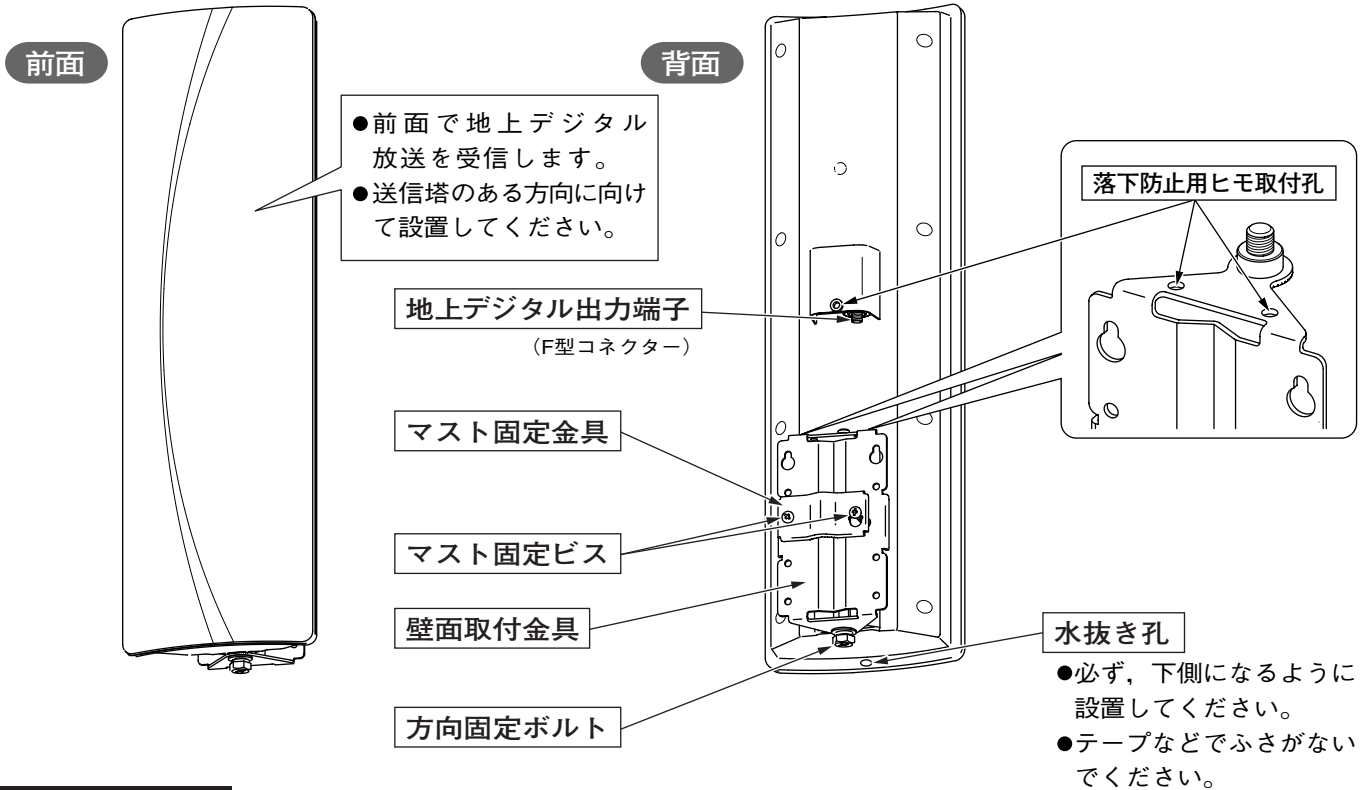
●アンテナの取付作業は、必ず2人以上で行なってください。



●テレビやチューナーからの75Ωケーブルをアンテナへ接続するときは、テレビやチューナーのACプラグをACコンセントから抜いて作業を行なってください。ACプラグをACコンセントに接続したままケーブルの接続作業をすると、使用しているテレビによっては、感電の原因となります。



各部の名称

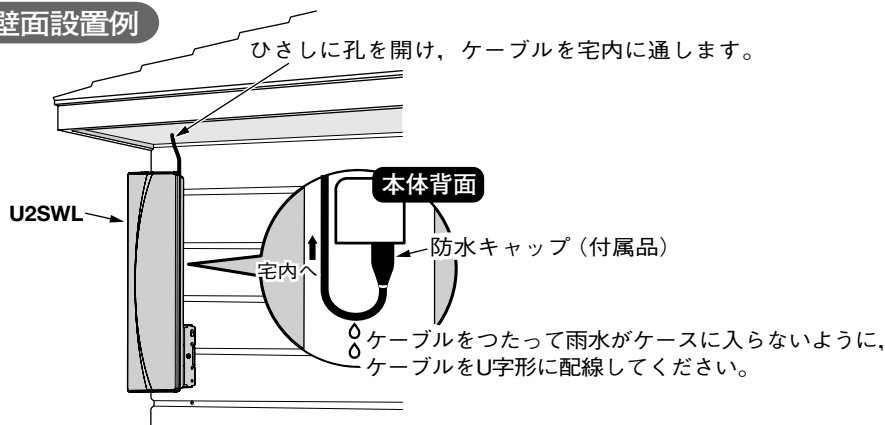


設置・配線例

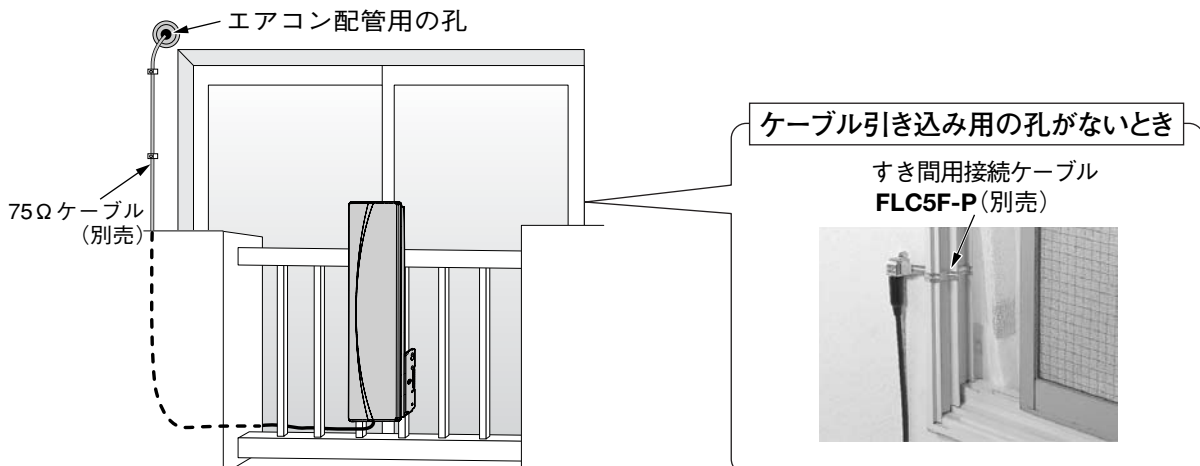
設置場所に応じて、別売の必要な長さの75ΩケーブルおよびF型コネクターをご用意ください。

- 送信塔のある方向に向けて設置します。
(設置はp.4「アンテナの設置」、方向調整はp.7「アンテナの方向調整」をご覧ください)
- ひさしや壁面に孔を開けたくない場合、宅内引き込み口やエアコン配管用の孔などから、75Ωケーブルを室内に引き込みます。孔がないときは、別売のすき間用接続ケーブルFLC5F-Pを使って引き込んでください。

壁面設置例



ベランダ設置例



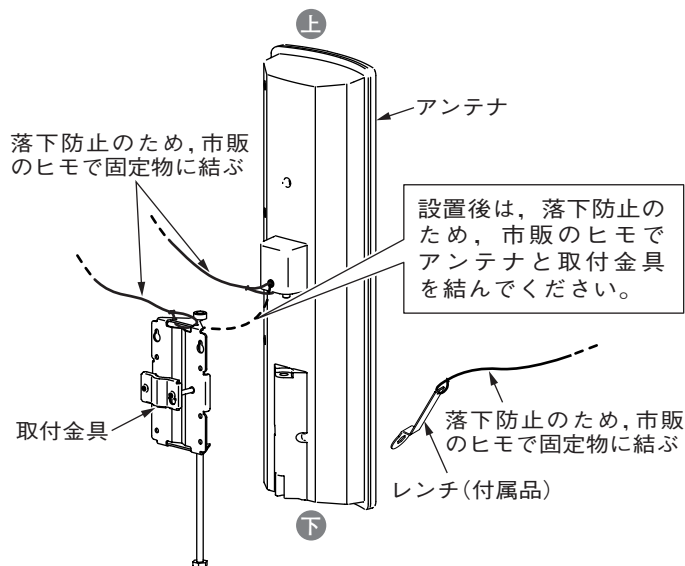
アンテナの設置

⚠ 注意

- アンテナの取付工事を行うときは、落下防止のため、アンテナや取付金具・工具などをヒモで固定物に結ぶなど、安全対策をしてから作業してください。
- アンテナの取付作業は、必ず2人以上で行なってください。

アンテナの取付方向について

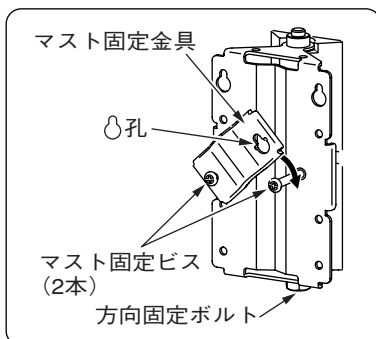
アンテナは、この「アンテナの設置」の説明にしたがって、正しく取付けてください。アンテナを上下逆や横向きに取付けると、内部に雨水が浸入して故障の原因となることがあります。



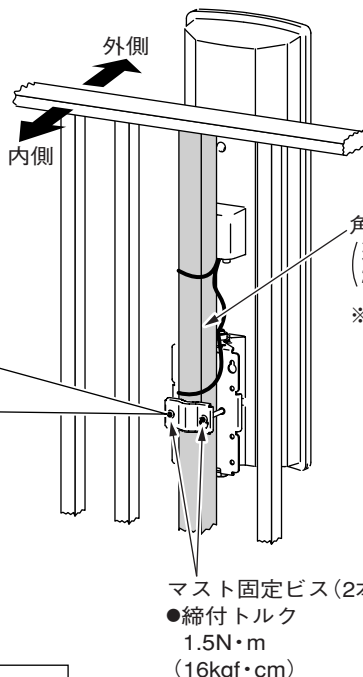
ベランダ・マスト設置

取付けには⊕ドライバーと、付属のレンチが必要です。

- マスト固定ビス(2本)をゆるめ、マスト固定金具の○孔をマスト固定ビスから外します。
- 角柱またはマストを通して、マスト固定金具の○孔をマスト固定ビスの頭にはめ、マスト固定ビス(2本)を均等に締付けます。

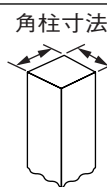


ベランダに設置



ご注意

- 2本のマスト固定ビスは均等に締付けてください。
- 出荷時は、方向固定ボルトは強く締付けてありません。方向調整をしないときでも、方向固定ボルトを忘れずに締付けてください。



※角柱寸法が30×30mm以上の場合、付属のマスト固定ビス(60mm)に付換えてください。
(下記「マスト固定ビスの長さ」について)をご覧ください。

ご注意

- アンテナは太い角柱部分に取付けてください。
- 45×45mmを超える角柱に取付ける場合、別売のフェンスベースSBM35をご使用ください。
- コンクリートフェンスなどに取付ける場合、別売のコンクリートフェンスベースKBM45をご使用ください。
(P.8「アンテナ取付金具(別売)」をご覧ください。)

マスト固定ビスの長さについて

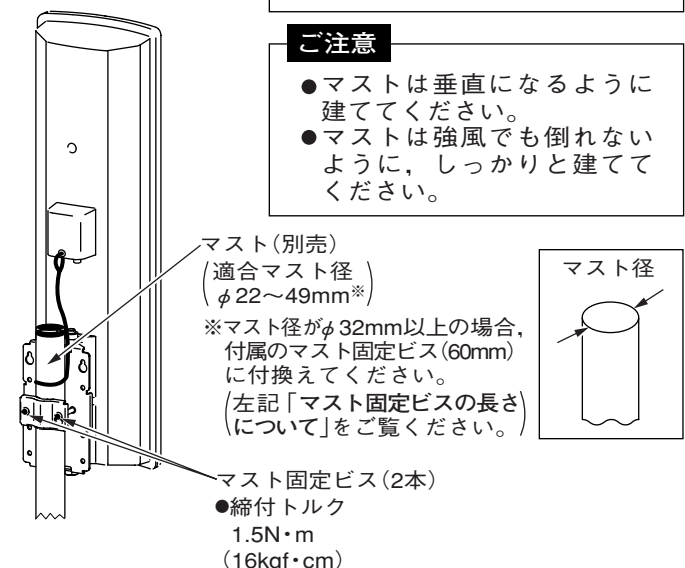
出荷時に付いているマスト固定ビスは細径の角柱・マスト用です。太径の角柱やマストに取付けるときは、付属の60mmのビスに付換えてください。

ビスの長さ	取付可能な角柱寸法	取付可能なマスト径
43mm (出荷時)	25×25 ∩ 30×30mm	φ22~32mm
60mm (付属品)	30×30 ∩ 45×45mm	φ32~49mm

ご注意

60mmの固定ビスで、φ32mm、30×30mmより細い角柱やマストに取付けると、アンテナを方向調整するとき、左右に充分動かすことができません。

マストに設置



ご注意

- マストは垂直になるように建ててください。
- マストは強風でも倒れないように、しっかりと建ててください。

壁面設置

- 取付けには⊕ドライバーと、付属のレンチが必要です。
- 取付ける壁面に合わせて、木ネジやコンクリートアンカーを用意してください。



注意

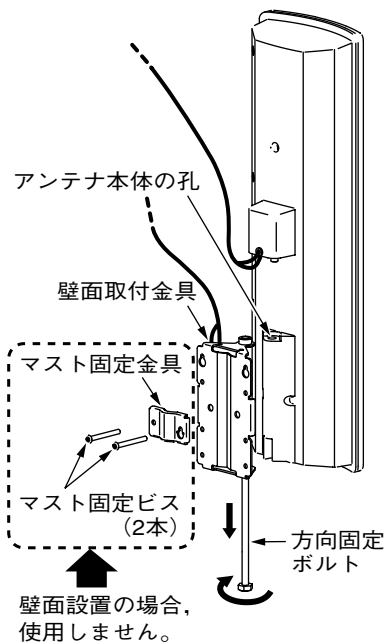
壁面に取付ける場合、壁面の強度がわかる工務店に、必ずご相談ください。

取付け前のご注意

壁面に取付ける場合、一度取付けると壁面にキズが付きます。事前に設置か所の付近で受信できることを確認してから、取付けてください。

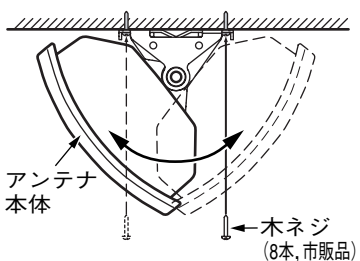
① 金具の取外し

- マスト固定ビス(2本)と、マスト固定金具を取外します。
(マスト固定ビスとマスト固定金具は使用しません。)
- 付属のレンチで方向固定ボルトをゆるめ、アンテナ本体の孔から取外して、壁面取付金具を取外します。



壁面取付金具を取外さずに壁面に取付けることもできます

アンテナ本体を左右に動かして取付けることもできます。



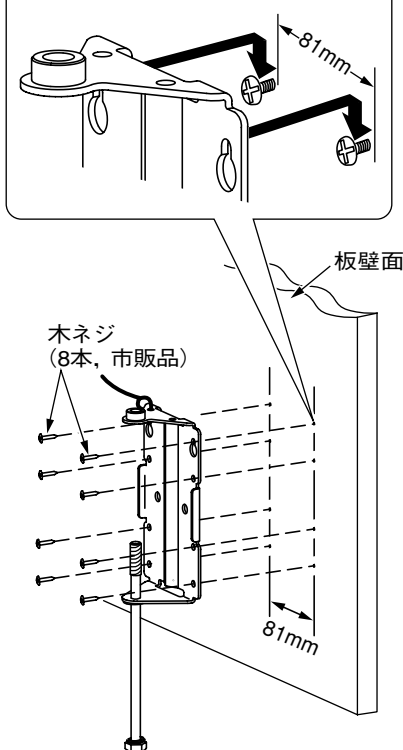
② 壁面取付金具の取付け

市販の木ネジ(5.1mm)8本で板壁面に取付けます。

ご注意

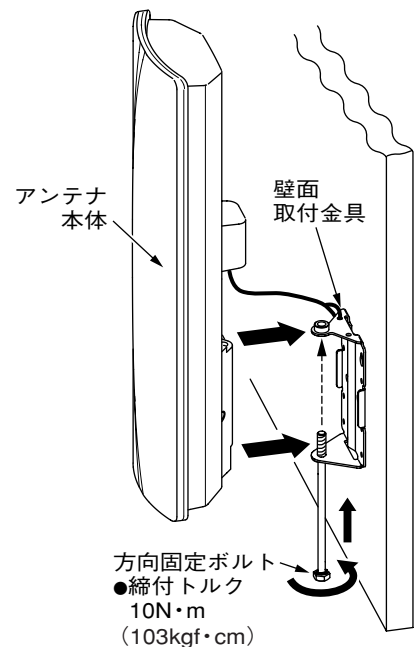
壁面取付金具は水平に取付けてください。水平にしないとアンテナが傾き、最良の受信感度が得られません。

木ネジを先に2本取付け、壁面取付金具の○孔をひっかけて仮固定すると取付けやすくなります。



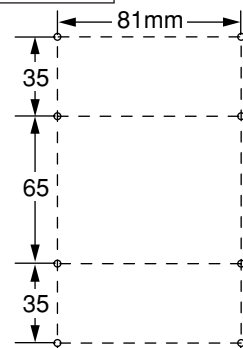
③ アンテナ本体の取付け

アンテナ本体を壁面取付金具にはめて、方向固定ボルトをアンテナ本体の孔に通し、付属のレンチで締付けます。



コンクリートアンカー取付寸法

コンクリート製の壁面に取付ける場合、市販のコンクリートアンカーを右図の位置(8か所)に取付けてください。



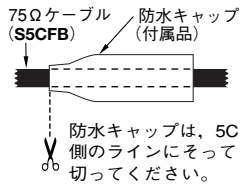
F型コネクターの取付方法

- 接触不良やショートを防ぐため、コネクタは正しい位置に取付けてください。
- F型コネクタは別売です。

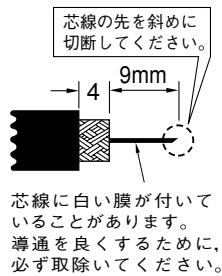
F型コネクタは、確実に取付けないと、受信不良の原因となります。説明をよく読んで取付けてください。

- ケーブルはS5CFBまたはS4CFBをおすすめします。
- S5CFBにはF型コネクタFP5を、S4CFBにはF型コネクタFP4をお使いください。

① ケーブルを付属の防水キャップに通してください。

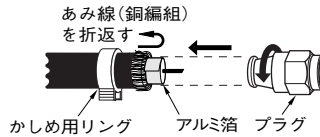


② ケーブルの加工 (加工寸法は原寸大です)



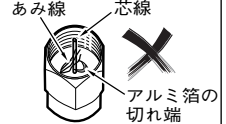
③ プラグの取付け

1. かしめ用リングにケーブルを通してください。
2. あみ線(銅編組)を折返してください。
3. プラグの内側にアルミ箔が入るように、アルミ箔の巻付けられている方向にプラグを回しながら、しっかりと押込んでください。



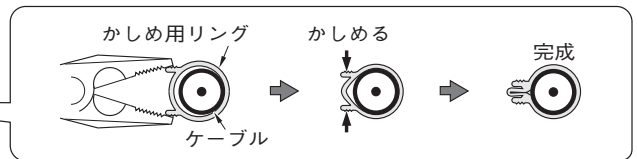
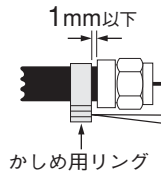
あみ線・アルミ箔のショートに注意

あみ線(銅編組)やアルミ箔の切れ端は、取除いてください。芯線に接触するとショート状態になり、テレビを見られなくなります。



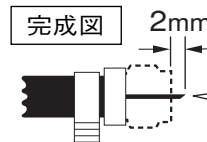
④ かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないように、しっかりと圧着してください。



芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

芯線が長すぎると、コネクタが破損して機器が故障します。



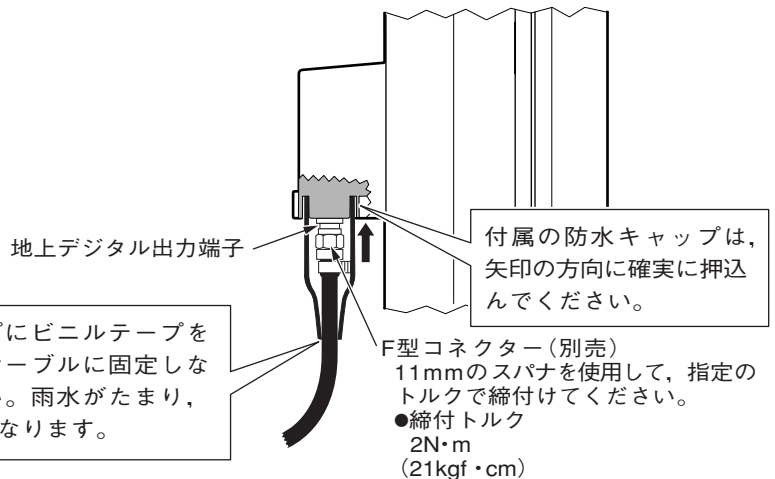
芯線は、まっすぐにしてください。

芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。



ケーブルの接続

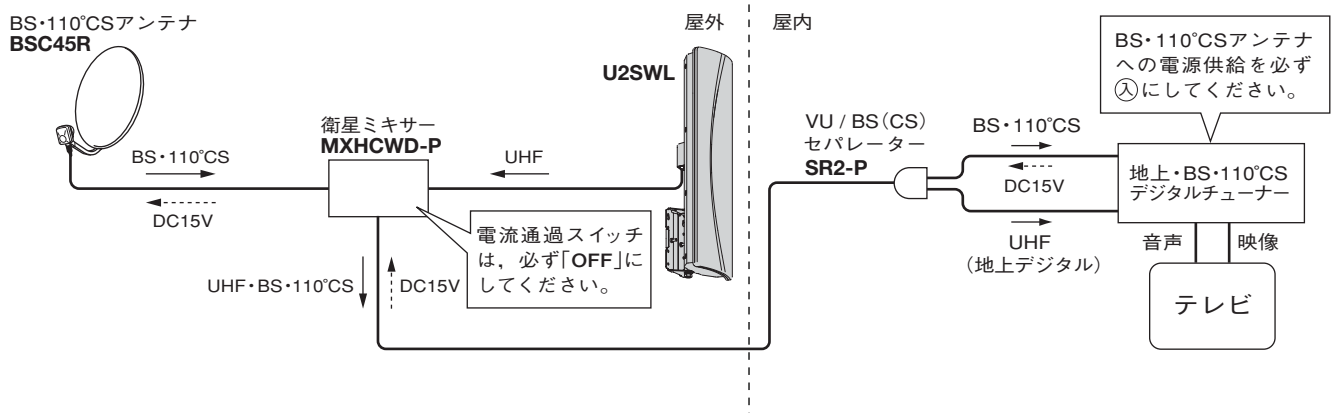
- F型コネクタを、アンテナの地上デジタル出力端子へしっかりと接続し、付属の防水キャップを矢印の方向へ確実に押込んでください。
- ケーブルは、コネクタや防水キャップに力がかからないように配線してください。



防水キャップにビニルテープを巻付けて、ケーブルに固定しないでください。雨水がたまり、故障の原因となります。

BS・110°CSアンテナを混合する場合

別売の衛星ミキサーMXHCWD-Pを使用することにより、地上デジタル放送とBS・110°CSデジタル放送を1本のケーブルで引き込むことができます。



アンテナの方向調整

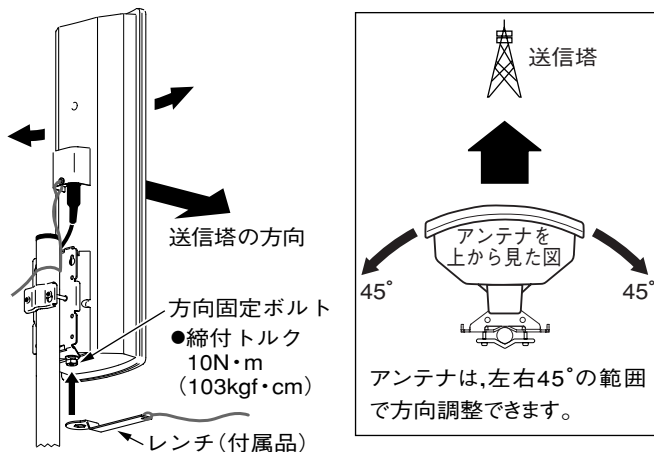
方向調整には、⊕ドライバーと、付属のレンチが必要です。

- ① アンテナが左右に回転するように、方向固定ボルトをゆるめてください。
(マストに取り付けたときは、マスト固定ビスをゆるめて方向調整) することもできます。
- ② 初めて地上デジタル放送を受信する場合、アンテナを送信塔の方向におおよそ向けてから、地上デジタルチューナーまたはテレビの「チャンネルスキャン(サーチ)」を行なって、受信チャンネルの設定をします。

ご注意

画面の表示は一例で、使用する地上デジタルチューナーまたはテレビにより異なります。詳しくは、ご使用の機器の取扱説明書をご覧ください。

- ③ 地上デジタルチューナーまたはテレビの「受信レベル(アンテナレベル)」の値が最大になるように、アンテナを左右に回転させてアンテナの向きを調整してください。
- ④ 調整後、付属のレンチで方向固定ボルトを指定のトルクで締付けてください。



「チャンネルスキャン」の例



(地上・BS・110°CSデジタルチューナー) DT35の場合

「受信レベル」の例



(地上・BS・110°CSデジタルチューナー) DT35の場合

ご注意

- 電波の弱い場所では、受信できません。また、強・中電界地域でも設置場所によっては、受信できないことがあります。
- 送信電力の低い特定のチャンネルだけが映らないこともありますので、全チャンネルがきれいに映るように方向を調整してください。
- アンテナレベルは、アンテナの高さでも変わります。高い場所に設置すると、受信レベルが大きくなる場合があります。

きれいなテレビが見られないときは

症状	原因	処置
<p>画像が出ない</p> <p>地上デジタル放送 アナログUHF放送</p> <p>メッセージは、一例です。</p>	<p>コネクタの取付け・ケーブルの接続方法が間違っている。</p> <p>信号が来ていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● コネクタが正しくケーブルに取り付けられているか確認してください。 ● ケーブルが、地上デジタル出力端子に正しく接続されているか確認してください。 ● 各ケーブルが、断線またはショートしていないか確認してください。 ● F型コネクタの芯線が短かったり、芯線にあみ線(銅編組)やアルミ箔が触れていないか確認してください。
<p>画像にモザイク状のノイズが出ている</p> <p>地上デジタル放送</p>	<p>受信レベルが低い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 症状が消えるように、アンテナの方向を調整してください。 ● アンテナの設置場所や高さを変えてください。

規格表 Specifications

MASPRO

項目 Items	規格
受信チャンネル Reception Channels	ch.13~62
アンテナ利得(感度) Antenna Gain	5.5~8.5dB
VSWR Voltage Standing Wave Ratio	2.5以下
前後比 Front to Back Ratio	5~13dB
半値角度 Half Power Beam Width	80~100°
インピーダンス Impedance	75Ω (F型コネクター)
使用温度範囲 Temperature Range	⊖20~⊕40℃
適合マスト径 Adaptable Mast Diameter	マスト: φ22~49mm* 角柱: 25×25~45×45mm*
外観寸法 Dimensions	600(H)×180(W)×144(D)mm (壁面取付時) 600(H)×180(W)×200(D)mm (φ49mmマスト取付時)
質量(重量) Weight	約2.1kg

* φ32mm以上のマスト、30×30mm以上の角柱には、付属のマスト固定ビス(60mm)をご使用ください。

指向性能について

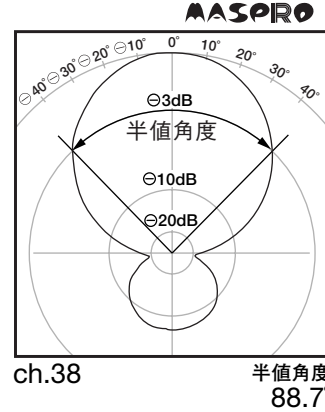
指向性能は前後比と半値角度で表します。

●前後比(F/B)

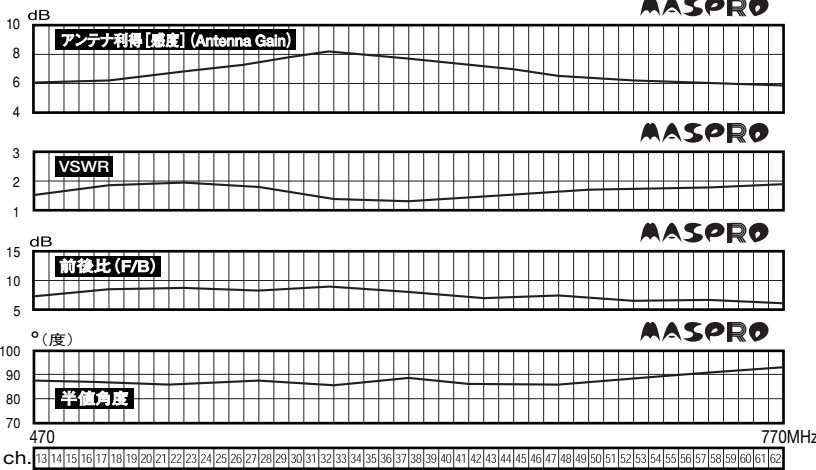
前後比は前方と後方の感度の比をdBで表したものです。
前後比が大きいくほど、後方からの反射波による妨害を軽減します。

●半値角度

半値角度は指向性の広さを示したものです。



性能



すべてのグラフは、マスプロ独自の全自動アンテナ測定装置が描いた一例です。マスプロの規格表・性能表に絶対うそはありません。保証します。

VSWR(定在波比)について

VSWRは、インピーダンスの整合の度合を表したものです。
VSWRが3以下(1に近いほどよい)なら、優れたアンテナといえます。

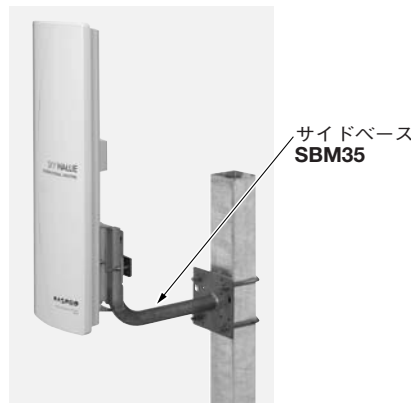
VSWR	整合損失(利得の低下)
1	完全整合で無損失
1.5	0.2 dB
2	0.5 dB
2.5	0.9 dB
3	1.2 dB

付属品

- 防水キャップ 1個
- レンチ(17mm) 1個
- マスト固定ビス(60mm) 2本
(太径 マスト・角柱用)

アンテナ取付金具 (別売)

- 角柱(45×45~80×80mm)



- フェンス(厚さ100~200mm)



製品向上のため 仕様・外観は変更することがあります。

地デジをすべての人に届けたい
= マスプロ電工 =

本社 〒470-0194 (本社専用番号) 愛知県日進市浅田町上納80
技術相談 TEL名古屋(052) 805-3366
受付時間 9~12時, 13~17時
(土・日・祝日、当社休業日を除く)
インターネットホームページ www.maspro.co.jp
技術相談以外は、お近くの支店・営業所にお問合わせください。

支店・営業所

- 九州沖縄(シ) (092) 551-1711
- 福岡(支) (092) 551-1711
- 沖縄 (098) 854-2768
- 鹿児島 (099) 812-1200
- 宮崎 (0985) 25-3877
- 熊本 (096) 381-7626
- 長崎 (095) 864-6001
- 北九州 (093) 941-4026
- 中国四国(シ) (082) 230-2359
- 広島(支) (082) 230-2351
- 下関 (083) 255-1130
- 松江 (0852) 21-5341
- 岡山 (086) 252-5800
- 山松 (089) 973-5656
- 高知 (088) 882-0991
- 高松 (087) 865-3666
- 近畿(シ) (06) 6632-1144
- 大阪(支) (06) 6635-2222
- 姫路 (079) 234-6669
- 神戸 (078) 231-6111
- 京都 (075) 646-3800
- 東北(シ) (052) 802-2233
- 名古屋(支) (052) 802-2233
- 津 (059) 234-0261
- 岐阜 (058) 275-0805
- 豊橋 (0532) 33-1500
- 静岡 (054) 283-2220
- 松本 (0263) 57-4625
- 福井 (0776) 23-8153
- 金沢 (076) 249-5301
- 関東(シ) (03) 3499-5632
- 関東(支) (03) 3499-5631
- 東京(支) (03) 3409-5505
- 新潟 (025) 287-3155
- 横浜 (045) 784-1422
- 八王子 (042) 637-1699
- 千葉 (043) 232-5335
- さいたま (048) 663-8000
- 前橋 (027) 263-3767
- 水戸 (029) 248-3870
- 宇都宮 (028) 636-1210
- 東北北海道(シ) (022) 786-5064
- 仙台(支) (022) 786-5060
- 郡山 (024) 952-0095
- 盛岡 (019) 641-1500
- 秋田 (018) 862-7523
- 青森 (017) 742-4227
- 札幌 (011) 782-0711
- 釧路 (0154) 23-8466
- 旭川 (0166) 25-3116

(シ): システム営業グループ
(支): 工事グループ

MAY, 2009

Master of Production
生産の覇者

2K56-258

JY(N)-95-5258-2C